



太陽と月のカレンダー



※日の出・日の入りは八王子での時刻です。

日付 (曜日) 日の出 月の形 ▼情報 天文現象 暦(こよみ)	1 (水) 06:02 16:50	2 (木) 06:03 16:49	3 (金) 06:04 16:48 文化の日 ☆木星が衝	4 (土) 06:05 16:47	5 (日) 06:06 16:46 下弦	6 (月) 06:07 16:45	7 (火) 06:08 16:45	8 (水) 06:09 16:44 立冬	9 (木) 06:10 16:43 明け方、東 の空で月と 金星が接近	10 (金) 06:11 16:42 明け方、東 の空で月と 金星が接近	
	11 (土) 06:12 16:41	12 (日) 06:13 16:41 ★星空さんぽ	13 (月) 06:14 16:40 新月	14 (火) 06:15 16:39	15 (水) 06:16 16:38	16 (木) 06:17 16:38	17 (金) 06:18 16:37 夜明け前、しし 座流星群が極大 ★トワイライト プラネタリアム	18 (土) 06:18 16:37	19 (日) 06:19 16:36	20 (月) 06:20 16:35 上弦 月と土星が 接近	21 (火) 06:21 16:35 月と土星が 接近
	22 (水) 06:22 16:35 小雪	23 (木) 06:23 16:34 勤労感謝の 日	24 (金) 06:24 16:34	25 (土) 06:25 16:33 月と木星が接 近 ★星空観望会	26 (日) 06:26 16:33 ★全編生解 説プラネタ リウム	27 (月) 06:27 16:33 満月	28 (火) 06:28 16:32	29 (水) 06:29 16:32	30 (木) 06:30 16:32	☆木星が衝(しょう) 衝とは地球から見て、太陽と ちょうど反対側に見える瞬間 のこと。月でいうと満月と同 じ位置。一晩中、空で明るく 輝く。衝の頃の木星は-3等 くらいの明るさでとても目立 つ。	

二十四節気

二十四節気とは、太陽暦(月のみちかけの周期を1か月とする暦法。旧暦。)を使用していた時代は暦と季節が少しずれるので、季節とずれない目印として考え出されました。春分や夏至などを基準に1年を24等分し、区切りの日に名前をつけたものです。現在でも季節の節目に、これを示す言葉として使われています。

立冬(りっとう)・・・この日から立春の前日までが冬。日は短くなり時雨が降る季節。北国や高山からは初雪の知らせも届き、関東では空っ風が吹く頃。小雪(しょうせつ)・・・陽射しは弱まり、冷え込みが厳しくなる季節。木々の葉は落ち、平地にも初雪が舞い始める頃。

木星



どこに見える?

太陽が沈んだ後、東の空を見るととても明るい星があります。太陽系の惑星、木星です。町明かりがあるようなところでも簡単に見つけることができます。



望遠鏡で見てみよう

望遠鏡で木星を見ると、2本のしま模様があるのが分かります。しま模様は小型の望遠鏡で確認できますが、望遠鏡の口径が大きくなると、大赤斑(だいせきはん)が見えるかもしれません。大赤斑は、木星の雲によって作られた渦巻きです。



望遠鏡で見た木星(イメージ)

☑望遠鏡で木星を観察するときは、風がない日や、木星が南の空に見える時間に観察すると、より細かい模様が見えます。



木星表面に閃光現象

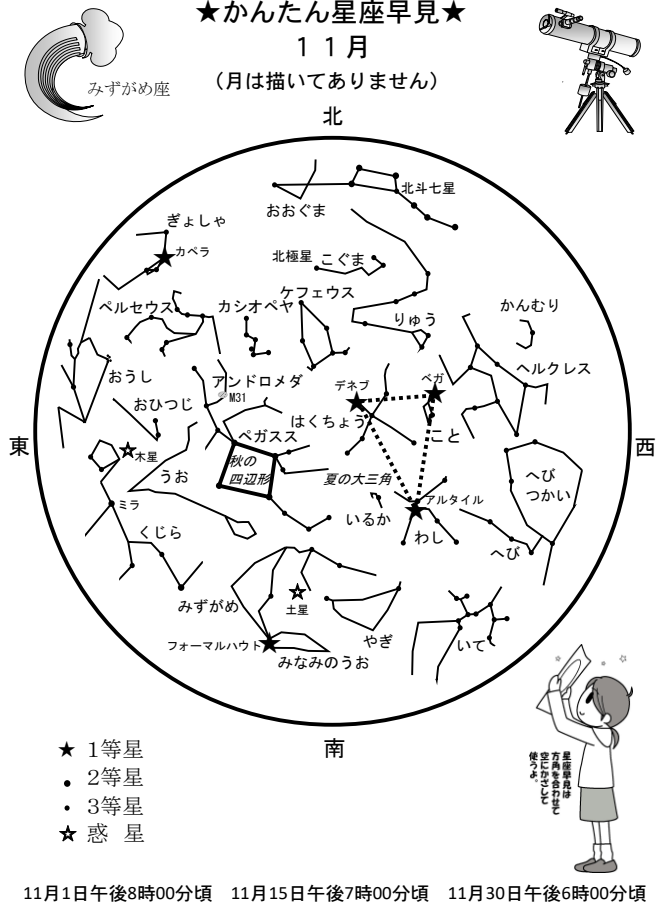


2023年8月29日1時45分頃、木星表面に閃光現象が発生し、日本国内のアマチュア天文家によって観測、撮影されました。この閃光は、木星に小天体が衝突したためと推定されています。太陽系で最も大きな惑星である木星は、その強い重力の影響で近くを通る小天体の軌道を変えることがあり、その結果、その小天体が木星に衝突することがたびたびあります。

★かんたん星座早見★

11月

(月は描いてありません)



★プラネタリアムイベント情報!

- ★秋の星空さんぽ ... 11/12(日) 15:50~16:40 見ごろとなっている星や星座、天文現象などをたっぷりとお話しします。
- ★トワイライトプラネタリアム ... 11/18(土) 18:00~18:50 「みずものがたり -46億年 地球をめぐる水の旅-」
- ★星空観望会 ... 11/25(土) 17:30~19:30 観望天体: 月、木星、土星
- ★全編生解説プラネタリアム ... 11/26(日) 15:50~16:40 星空の解説とテーマ解説「アンドロメダ座」

※詳しくはホームページ等でご確認ください。

ホームページはこちらから

